



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
(0845-22-2596)  
三浦とおる  
(0848-48-5044)

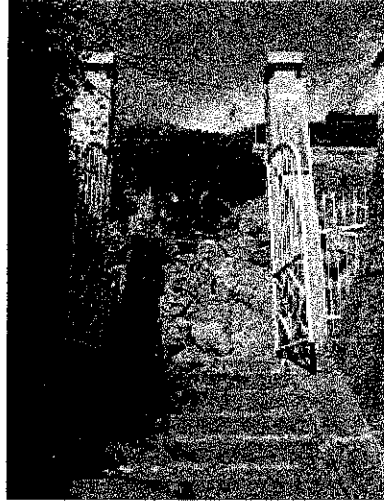
# なぜ 志賀直哉旧居、林芙美子文学記念室廃止？

## -これはおかしい「どうした観光尾道」-



千光寺公園にある志賀直哉旧居

提案理由には「志賀直哉旧居及び文学記念室を廃止し、文学公園及び中村憲吉旧居を尾道文学公園として設置し管理するための条例案である」と記載されるだけで、なぜ著名な志賀直哉、林芙美子に関連する観光資源をなくすのか納得のいく説明はありませんでした。



林芙美子文学記念室

ことは許されない、また、同市議は尾道の観光マップなどにも志賀直哉旧居は大々的に取り上げられており、廃止されれば、全部印刷直し直さなければならぬ。かなり大損害だと再考を求めました。今回の提案は文化振興課ですが、同市議が「観光課長は今回の提案をどう受け止めているのか」と質したのに対し、「残念だ」と述べたのに、全体をとりまとめる政策責任者（市長、副市長など）は座視するだけで、ダンマリを決め込みました。

「志賀直哉」「林芙美子」は尾道の大事な観光資源！ 古いモノに磨きをかけるのが尾道のよさではなかったのか！

岡野長寿市議は予算特別委員会、「尾道文学公園設置及び管理条例」について質疑を行いました。

### コロナ対策で申し入れ 共産党市議団



3月11日共産党市議団は、「新型コロナウイルス感染症に対する対策と休校の影響に関する申し入れ」を、平谷市長、佐藤教育長に申し行いました。要請項目は下記の通りです（要旨）。

- ①新型コロナウイルス感染問題の総合相談窓口設置
- ②教育委員会が、各学校や放課後児童クラブ、子どもの生活実態の全体把握を行い、必要な手立てをとる
- ③児童・生徒への給食実施の検討
- ④一日も早く通常の教育に戻すこと（具体的に感染が出た場合に、学校閉鎖や学級閉鎖とする等）の検討
- ⑤それまでの間、学校開放などで、家に居られない児童・生徒の居場所づくりをすること。
- ⑥収入減となる学校の非正規や臨時職員、給食関係者に対する休業補償 ⑦給食納入業者の実態把握と、損失補償を国に求め、市独自の支援策を講じる
- ⑧中小企業・小規模事業者を対象とした経営相談窓口の開設 ⑨市民病院でのウイルス検査、病床確保ができるようにすること。感染症入院病床を確保すること

### 「市営住宅の入居時の保証人はやむを得ないときは必要ない」三浦とおる市議の質疑に市が答弁



三浦市議は質疑の中で、連帯保証人が2人から1人に減ったことは、評価できるとした上で市営住宅には多くの住宅困窮者や高齢者等が申し込みをされており、その人たちが連帯保証人を探すのに苦労している現状を質しました。「連帯保証人を探すが困難な方がおられた場合にはどうするのか」「広島市のように連帯保証人が必要ないようにすべきではないか」と理事者に迫りました。理事者は「連帯保証人1人となつてはいるが、実情に合わせて連帯保証人がいない場合も市長が認めれば入居はできる」と答えず、連帯保証人無しでもやむを得ない場合には入居できるとの答弁を引き出しました。

予算特別委員会にて、三浦とおる市議は「尾道市営市住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例案」について質疑を行いました。質疑の中で新しい条例案では入居時の連帯保証人が現行制度では2人必要であったものが、1人でも入居が可能になることを一定の評価をしつつ、「広島市のように連帯保証人が必要ない制度にすることを要求しました。」